



天文台だより

銀河の森天文台
2016 冬号
Vol. 70

11/14、驚き！おもしろ科学実験2015を開催！



堀内洋平氏によるミニ講演会の様子

2015年11月14日に「驚き！おもしろ科学実験2015」を開催しました。今年は名古屋大学、北海道大学に加えて、北見工業大学と足寄動物化石博物館の実験コーナーが増え、鉱物・化石掘りや雪の結晶アクセサリ作りなど、親子で楽しんでいました。

ミニ講演会では、丸善出版の堀内洋平氏による講演「理科年表うらばなし」を開催し、今年で90周年を迎えた理科年表の編集裏話を聞くことができました。この講演に合わせて、当日の入館者には最新の理科年表を先着100名様でプレゼントしました。

このイベントも今年で4回目を迎え、毎年楽しみに来て下さるお客様もいて、たくさんの方の来館者で大盛況でした。



実験コーナーの様子

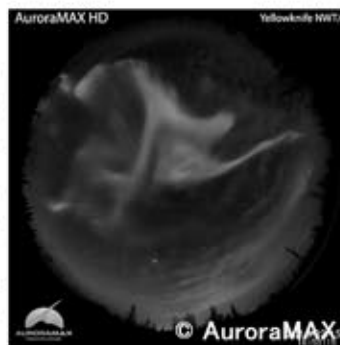


「オーロラウィーク2016」

2/3～14、オーロラ生中継開催！

2016年2月3日(水)～14日(日)の期間、カナダ・イエローナイフからのオーロラ生中継を今年も開催します。「オーロラウィーク2016」では、現地で撮影されているオーロラの全天画像をリアルタイムで受け、天文台のプラネタリウムドームに投影します。期間中、上出館長によるオーロラ予報や「オーロラ、何でも質問コーナー」も開催します。

イエローナイフとの時差は、-16時間で、ちょうど天文台開館時間帯が現地の夜になります。現地が晴れていれば、高確率でオーロラが出現しています。ドーム内では、過去の素晴らしいオーロラのダイジェスト映像も上映しますので、ぜひご来館下さい。



「館長コラム」上出洋介(牡牛座)

本年度のノーベル医学生理学賞受賞者に、大村智教授が決定しました。アフリカなどでの熱帯で流行する寄生虫病の治療薬の開発が評価されたものです。一方、翌日発表された物理学賞には、ニュートリノに質量があることを突き止めた梶田隆章教授に決定し、再び日本人のダブル受賞のニュースが世界中を飛び交いました。

大村教授のくすりは、年間3億人の患者を失明から救っており、「トップクラスの研究は世のため、人のためでなければならない」は、妙に説得力があります。一方、カミオカンデでのニュートリノ実験は、宇宙での人類の誕生に解釈をあたえます。みなさんは、どちらのタイプの研究を応援しますか。



(上出洋介館長)

11/1、小惑星「2015 TB145」を観測！

11月1日未明、地球に最接近した小惑星「2015 TB145」を観測しました。小惑星「2015 TB145」は2015年10月10日にパンスタースグループによって発見され、日本時間11月1日1時57分に49万kmの距離まで地球と接近しました。

左の写真の○の中の点が小惑星「2015 TB145」です。



小惑星「2015 TB145」 2015.11.1 4:12 JST

暦表

(陸別町)

	日の出	日の入	月齢	月の出	月の入
1月 1日	6:54	16:03	20.7	22:58	10:42
1月 15日	6:51	16:17	5.1	9:48	22:18
2月 1日	6:38	16:39	22.1	---	10:38
2月 15日	6:21	16:58	6.5	10:16	---
3月 1日	5:58	17:17	21.5	---	9:46
3月 15日	5:34	17:35	6.0	9:44	---

天文行事&暦

1月

- 12/28-1/5 天文台休館日
- 4 しぶんぎ座流星群が極大 (PM5時 最大20個/時)
- 6 小寒(24節気:太陽黄経285°)
- 10 ●新月
- 21 大寒(24節気:太陽黄経300°)
- 24 ○満月

2月

- 3-14 オーロラウィーク2016
- 4 立春(24節気:太陽黄経315°)
- 7 水星が西方最大離角 (光度:-0.0等, 離角:25.6°)
- 8 ●新月
- 19 雨水(24節気:太陽黄経330°)
- 23 ○満月

3月

- 5 啓蟄(24節気:太陽黄経345°)
- 9 木星が衝(-2.5等, 視直径44.4")
●新月
部分日食(陸別:最大食分0.14)
(始10:41, 最大11:22, 終12:04)
- 9-20 木星観望会
- 20 春分(24節気:太陽黄経0°)
- 23 ○満月

冬のイベント情報!!

☆ オーロラウィーク2016

「カナダ・イエローナイフからのオーロラ生中継」

毎年多くの方に体験していただいているカナダ・イエローナイフからのオーロラ生中継を今年も開催します。リアルタイムでドームに投影されるオーロラの様子をお楽しみ下さい。

開催日時: 2月3日(水)~14日(日)

中継: 午後2時~8時まで(投影時間:1回15分程度)

※ 現地の天候や観測状況により中継時間が変わることがあります。

協力: The AuroraMAX Observatory at Yellowknife, NWT, Canada is operated by The University of Calgary, The Canadian Space Agency, and Astronomy North.

☆ 木星観望会

しし座で衝を迎え、見頃になった木星の観望会を開催します。木星のしま模様は木星の雲の様子で、時間によっては台風の渦みみたいな「大赤斑」も見ることができます。じっくり観察してみてください。

開催日時: 3月9日(水)~3月20日(日)

説明会: 午後7時30分から(土曜・日曜のみ)

コラム「ペッコカめぐり」

ペッコカとは天の川を現すアイヌ語です。「川の姿」という意味で、天の川を地上の川が夜空に映っているものと考えてこう呼んだそうです。さてこのペッコカ、地方によってはリクンペッコカとも呼ぶそうです。意味は「高いところにある川の姿」・・・どこかで聞いたことがありませんか? そう、陸別の名前の由来がリクンペッコ(高いところにある川)なんです。陸別と星、こんなところにも縁があったのですね。天の川は私達の銀河そのもの、もちろん私達も天の川の一部です。これから星空のこと、天文台の周りで起きたことなどいろいろなことを紹介していけたらなと思います。
(中島)



2016年太陽系天体みどころカレンダー

○: 満月 ●: 新月

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
月	○ 24 ● 10	○ 23 ● 8	○ 23 ● 9	○ 22 ● 7	○ 22 ● 7	○ 20 ● 5	○ 20 ● 4	○ 18 ● 3	○ 17 ● 1	○ 16 ● 1, 31	○ 14 ● 29	○ 14 ● 29
火星												
水星												
木星												
金星												
土星												
日	★晴れた日は毎日、太陽望遠鏡によって太陽の様子を見ることができます。											

太陽系天体のうち、天文台開館時間中に肉眼で見られる天体の見頃の時期を一週間のカレンダーのようにまとめました。黒線の期間内が見頃の時期になります。今年は、3月9日に部分日食が起こります。また、火星が5月31日に最接近します。中秋の名月は、9月15日です。今年も空を眺めましょう☆天文台でお待ちしています!

天文台からのお知らせ

☆ 12月28日(月)~1月5日(火)の期間は、天文台休館日となります。

発行・編集: りくべつ宇宙地球科学館 (銀河の森天文台)

〒089-4301 北海道足寄郡陸別町宇遠別 TEL: 0156-27-8100 FAX: 27-8102

URL: <http://www.rikubetsu.jp/tenmon/index.html>

E-mail: ginga@rikubetsu.jp